

番号	受付日	概要	回答・対応	担当部署	お問合せ先	公開日	回答日
1	令和6年4月24日	この度は、2点ほどお伝えしたい事があり、ご連絡さしあげました。 まず1点目は、令和8年度銀山義務教育学校開始に向けた建設についてです。 昨年の説明会は、残念ながら所用により欠席したのですが、建設前に解決しておきたい疑問があります。 それは、銀山義務教育学校の建設時に、屋上に設置が予定されている太陽光パネルについてです。 仁木町での風力発電建設計画に際し、その学びをきっかけとし、再エネの虚構や再エネ利権に興味を持つ事となりました。 太陽光パネルの設置に関し、さしあたっての疑問は以下の通りです。 ・火災や震災時の対応についてです。先日、太陽光パネルが火災エリアとなった時に、消防だけでは消火できず、自衛隊が出動した。という事例もありました。 - また、震災が起こった際には、危険をともなう可能性があります。 - 万が一の災害時、学校が火災になったり、ソーラーパネルがトラブルを起こしたりした場合の対応は、どのようにお考えでしょうか。 ・太陽光パネルは、外気温が30度以上になると、パネルの温度が70?80度になるとされています。 - パネルの気温上昇により、学校付近が暑くなり、クーラーを設置いただいたとしても、電気代がどんどん上がるのではないのでしょうか。 - また、付近に暮らす住民の家の温度も、上がってしまわないのでしょうか。 ・冬場の豪雪に対して、誰が屋根のソーラーパネルの雪下ろしをするのでしょうか。 銀山はご存知の通り、仁木地区より降雪量が多く、昨年の雪でも、現銀山小学校の体育館の窓ガラスが割れたり、保育園の屋根が雪の重みで	1点目の銀山義務教育学校については、令和5年度発注の基本設計において、再生可能エネルギーの導入を計画するとなっていますが、どのような物を導入するかは今年度発注の実施設計にて確定することになります。今時点での太陽光パネルについての危険性等については今後の議論の場で披露しながら、地域の方と協議しながら再生可能エネルギーの導入について検討したいと思います。 2点目のご意見につきまして、お答えいたします。 2015年、第21回国連気候変動枠組条約締約国会議において、パリ協定が採択され、世界共通の長期目標として、2050年までのカーボンニュートラルという目標を掲げております。日本においても、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを宣言し、世界に向けた約束として様々な取組が進められており、我が国においては、今後ますます取組の強化が求められるものと認識しているところであります。このような状況の下、本町においては、風力発電などを始めとする再生可能エネルギーのあり方を心配する声が一部に寄せられておりますが、本町で導入できるエネルギー転換やカーボンニュートラルに向けた手法を探すため、国の制度を活用しながら目標に向かって取り組んでいる姿勢を示すことが重要であると考えております。 一方で、ご意見のとおり子育てや教育環境の整備など、生活に直接還元されていると評価をいただけるよう、引き続き取り組んでまいります。 この度のご意見、ありがとうございました。	仁木町教育委員会 住民環境課環	0135-32-3621 0135-32-2513	令和6年11月 日 令和6年11月 日	令和6年5月8日 令和6年5月8日

		潰れたり、大雪の影響が出ています。 万が一、ソーラーパネルが大雪で壊れた場合に修繕費用がかかったり、雪で稼働しない期間が増えたりするのであれば、冬場は設置するメリットより、デメリットの方が大きいのは明らかではないでしょうか。 以上が、銀山義務教育学校の建設に関する太陽光パネルについての疑問です。 2点目は、エネルギー構造高度化・転換理解促進の事業に関してです。 本年度も予算を組んでいるので 令和4年度 3190万 令和5年度 6996万 令和6年度 7172万 となり、 私が移住してきた年から、3年で1億7358万となります。 血税を用いて実証試験を行ってくださるのはありがたいのですが、仁木町民に還元できる事がこれまでであったのでしょうか。 実証試験を行って終わり、なのであれば関わる大企業の利権のために、役場の皆さんの貴重な時間が奪われただけではないのでしょうか。 これだけの国税を使えるのであれば、もっと町民のためになる、使い方はないのでしょうか。 今の国政が、庶民のために政治を行っているかどうか、ということは、ひとつひとつ見極める必要があると考えています。 その最たる例として、自民党議員の裏金問題を挙げておきます。 町や町民の暮らしに還元できない事業であれば、最初から予算組みも実施もしないでいただきたいです。 お忙しいところお手数をおかけしますが、ご検討のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。					
--	--	---	--	--	--	--	--

2	令和6年5月20日	小中学校の給食が美味しくないと聞いています。せっかく美味しいお米・野菜の産地ですし海も近い地域なのですから、地元の食材を活かした給食を提供してほしい、そして味付けは本物の調味料を使用して欲しいです。給食はただお腹を満たすものではなく、人生の土台となる子ども時代の身体を作り味覚・感性を育てる意識で取り組んでいただきたいです。	学校給食の食材につきましては、北海道産を基本に仁木町や赤井川村、後志で採れる地場産品や旬の食材を取り入れておりますが、必要な量や栄養素を安定的に確保するために道外産も使用しております。 調味料につきましては、食品成分、細菌検査、品質、栄養価、製造工場及び所在地等を確認した安全なものを使用し、献立に合わせカツオの削り節や根昆布などで出汁を取り加えております。 文部科学省の「学校給食摂取基準」に基づき栄養をバランスよく摂取できるよう様々な食品を組み合わせるとともに、児童生徒の嗜好に偏りが生じないよう多様な調理や味付けをした献立の作成に取り組み、児童生徒の心身の健全な発達に資する学校給食の提供に引き続き努めてまいります。	仁木町教育委員会	0135-32-3955	令和6年11月 日	令和6年5月22日
3	令和6年9月5日	今回聴かせて町の声、というかたちで議会の動画配信について、ご要望させていただきたく存じます。 動画配信の取り組みで、より開かれた議会となり、町民の民意をより反映できる、第一歩となると、思います。 ですので、議会の動画配信や、アーカイブでの視聴ができるよう、議会にてお取り組みいただけますようお願い申し上げます。 ・お上の北海道では、議会の定例会はもちろん、各委員会の動画配信にも取り組んでいます。 ・また、後志管内20市町村のうち、約3割の6市町村が、既に動画配信に取り組んでいるようです。 小樽市 倶知安町 ニセコ町	お問い合わせの件につきましては、議会活性化特別委員会で検討いたしました。本会議の様子については、会議録や議会広報にてその内容を確認できることから、ホームページをご参照願います。 以上のことから、現在のところ、動画を配信する予定はないことを申し添えます。	仁木町議会事務局	0135-32-3954	令和6年11月 日	令和6年9月12日

		岩内町 蘭越町 黒松内町 ・できれば、議会傍聴へ足を運べる時は顔を出したいのですが、足を運びたくても働いていたり、農繁期には外へ出られず足を運べない、といった声も多くあります。 ぜひ、議会の動画配信や、アーカイブでの視聴ができるような体制づくりを構築願います。 令和になり、スマホがこれだけ普及し、小学校でもiPadを導入するなど、時代が変わったので、開かれた議会運営の在り方として、全国、全道的にもどんどん広がっている動きです。 仕事を休んだり、抜けられる一部の住民だけが傍聴できる、のではなく、どのような立場の住民もスマホさえあれば視聴できると、選挙の時にもみなさんおっしゃっていた、『町民の声を聴きます』ということをより実現しやすくなり、より開かれた議会になっていくと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。					
--	--	---	--	--	--	--	--